

東地申 第2号
8月28日 開催

「常磐線特急の車掌乗務体制見直しに伴う運用改正について」の解明申し入れ **2回目 その2**

7. 今後も訪日外国人旅客が増加するが、「ジャパン・レール・パス」等の座席未指定乗車に対する対応・対策を示すこと。

(回答) 訪日外国人旅客に限らず座席未指定のお客さまに対しては、これまでと同様に車内での対応となる。なお、引き続き必要な周知は行う考えである。

主な議論

(組合) 全車指定席列車の課題である。引き続きの周知とはどのようなことか？

(会社) 広範囲に及ぶことであるが、発売時のご案内が重要であると考え。系統間での連携を図っていく。

(組合) パスを正しく理解していただき、東日本エリアに送客を図っていくことが重要だ！

これまでもジャパン・レール・パスで発生している問題を指摘してきた。訪日外国人旅客の増加が見込まれる今こそ、対策を急ぐべきだ！

8. 5号車乗務員室での運転取扱いを可能とする根拠を示すこと。

(回答) 最後部乗務員室以外でのドア扱いについては、関係規程上制約を受けるものではない。

主な議論

(組合) 実施するにあたっての課題は何か？

(会社) 検討中であるが、乗降・信号・合図などの確認が行える設備が整えば実施することが可能である。

(組合) 5号車乗務員室からでは状態注意ができないのではないかと？

(会社) 可能な限り状態注意を行う。

(組合) 5号車乗務員室では扉がないが、基本動作は変わるのか？

(会社) 作業の手順は変わらないが、動作は変わることになる。

(組合) 5号車乗務員室でドア扱いを行うメリットはあるのか？

(会社) 作業性の向上である。

5号車でのドア扱いを前提としないこと！

9. 車内での防犯・防災に関する車掌の対応を示すこと。

(回答) これまでと同様に車内秩序維持を目的とした車内巡回に努め、異常時には運転士と協力して対応していくこととなる。

主な議論

(組合) 一人乗務となつては、これまで同様の巡回は不可能である。防犯の想定を示すこと。

(会社) 本社として想定しており、テロ対策訓練の実施や整備するものの検討などを進めている。

(組合) 防災対策についてはどうか？

(会社) 例えば避難誘導訓練などを積み重ねていくこと、続けていくことが重要であると考えている。

地域社会の発展に貢献する企業にふさわしい施策をつくりだそう！